

学習の指針（シラバス）

教科名	数学	実施学年	2年	週時数	3時間
-----	----	------	----	-----	-----

1 学習の目標

- ・身近なものから、主体的に数学的な事項を見いだすことができる。
- ・学んだ知識を活用し、思考し、課題に一生懸命取り組み、自分の考えを、数学的用語を用いて表現できる。
- ・課題解決に向け、主体的に仲間と協働できる。

2 学習計画及び評価方法

学期	月	学習内容	学習のねらい	備考 (時間)	評価
第1学期	4	●1章 式の計算 ・1節 式の計算	<ul style="list-style-type: none"> ・整式の加法、減法、単項式の乗法、除法の計算ができる。 ・数量関係について文字式を用いて表現したり、説明したりできる。 	17時間	中間テスト 期末テスト ノート ファイル ワーク 宿題
	5	・2節 文字式の利用			
	6	●2章 連立方程式 ・1節 連立方程式	<ul style="list-style-type: none"> ・二元一次方程式とその解の意味を理解する。 ・目的により式を変形できる。連立方程式を理解し、それを用いることができる。 	14時間	
	7	・2節 連立方程式の利用			
第2学期	9	●3章 1次関数 ・1節 1次関数	<ul style="list-style-type: none"> ・事象の中に1次関数としてとらえられるものがあることを知る。 ・1次関数の値の変化やグラフの特徴を捉え、式を求めたりグラフをかいたりすることができる。 	20時間	中間テスト 期末テスト ノート ファイル ワーク 宿題
	10	・2節 1次関数の性質と調べ方			
		・3節 2元1次方程式と1次関数			
	11	・4節 1次関数の利用	<ul style="list-style-type: none"> ・値の変化の割合とグラフの特徴を理解し、利用できる。 	16時間	
		●4章 平行と合同 ・1節 説明のしくみ	<ul style="list-style-type: none"> ・証明の意義と方法を理解する。 		
	12	・2節 平行線と角	<ul style="list-style-type: none"> ・平行線や角の性質を確認し、図形の性質を確かめられる。 	22時間	
・3節 合同な図形		<ul style="list-style-type: none"> ・三角形の合同条件を理解し、図形の性質を論理的に確かめられる。 			
		●5章 図形の性質と証明 ・1節 三角形	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な図形の性質を見だし、合同などを利用し確かめられる。 		

第3学期	1	・2節 四角形	・特別な平行四辺形について理解を深める。 ・平行線と面積の関係を理解する。	10時間	学年末テスト ノート ファイル ワーク 宿題
	2	●6章 確率 ・1節 確率	・起こりうる場合を整理し、求めることができる。		
	3	・2節 確率による説明 ●7章 データを比較して判断しよう ・1節 四分位範囲と箱ひげ図	・ことがらの起こりやすさを、確率をもとにして説明することができる。 ・箱ひげ図と四分位範囲の意味を理解する。 ・データを整理して箱ひげ図に表すことができる。 ・箱ひげ図と四分位範囲の特徴を理解する。	6時間	

3 評価について

	評価の観点及び内容	評価方法
知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ・基本的な概念、原理、法則、用語、記号などを確実に理解し、基本的な知識を身につけている。 ・数量の関係について、数学的に表現や処理をすることができる。 ・テストでは、上記の問題を解くことができる。 	中間・期末テスト 家庭学習ノート ☆授業中の発表、説明、計算
思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ・事象を数学的に捉え、論理的に考えようとする。 ・既習事項を元に、発展的に考えたりすることができる。 ・授業中に論理的に説明・発表などを取り組もうとする。 ・テストでは、上記の問題を解くことができる。 	中間・期末テスト 家庭学習ノート ☆授業中の発表、説明、計算
主体的に学習に取り組む姿勢	<ul style="list-style-type: none"> ・学習内容に興味を持ち、自ら課題を見出し取り組むことができる。 	☆授業態度(主体性・粘り強く取り組む姿勢) 家庭学習ノート

☆印の項目は、授業を欠席した場合、評価に含めることができない場合があります。

4 家庭学習(予習、復習、提出物等)について

- ・復習が大切な教科です。授業で学んだ内容のワークを進めたり、ノートを見直したりします。復習を行うことで、知識の定着に繋がります。家庭学習の習慣を定着させましょう。
- ・授業用ノートを1冊用意し、問題演習を行います。
- ・家庭学習用ノートとして、授業用ノート以外のノートを1冊準備します。授業の予習や、ワークの解き直し、教科書に載っている問題を解くために利用します。また、テストの解き直しをするものとしても使用します。
- ・各単元を学習し終えた後に振り返りをし、提出します。

5 教材等について

- ・教科書：東京書籍『新しい数学2』
- ・副教材：東京書籍『新しい数学2 基礎からの問題集』、数学ファイル
- ・その他：ノート2冊、コンパス、三角定規を授業のときに準備します。